

畜 号 外

平成26年 4月14日

全国農業協同組合連合会岩手県本部県本部長

岩手県養豚振興会長

岩手県農業共済組合連合会会長理事

岩手県家畜商業協同組合理事長

一般社団法人岩手県獣医師会長

様

岩手県農林水産部長畜産課総括課長

県内における豚流行性下痢の疑い事例の発生について

このことについて、県内の養豚場において豚流行性下痢（PED）疑い事例が発生し、別添のとおりプレスリリースしましたので、お知らせします。

つきましては、貴会員に対し、引き続き侵入防止対策の徹底について、注意喚起をお願いいたします。



【振興・衛生担当（高橋 真紀）TEL019-629-5722】

平成 26 年 4 月 14 日 (月)

農林水産部畜産課

本県における豚流行性下痢 (PED) を疑う事例の発生について

4 月 14 日(月)未明、豚流行性下痢 (PED) を疑う事例が確認されたので、概要をお知らせします。

記

1 疑い事例の概要

- (1) 飼養農場 : 県南地域の養豚場 1 戸 (17,110 頭飼養)
- (2) 症 状 : 繁殖母豚 10 頭 (下痢)
哺乳子豚 1,080 頭 (下痢、嘔吐、うち死亡 20 頭)

2 経 緯

- (1) 平成 26 年 4 月 13 日 (日) 14 時、県南家畜保健衛生所が、当該農場から下痢等の症状がある旨の通報を受理。
- (2) 同日 16 時、同所が病性鑑定材料を採取し、中央家畜保健衛生所に搬入。
- (3) 簡易検査 (遺伝子検査) を実施し、14 日 (月) 未明、6 頭中 6 頭で PED ウイルスを確認。

3 これまでに行った措置等

- (1) 当該農場に対し、豚舎消毒など、まん延防止措置の徹底、豚の移動自粛を要請済み。
- (2) 肥育豚の出荷先であると畜場に、当該農場から、当面、出荷を自粛する旨連絡済み。
- (3) 発生農場を除く全養豚場 (153 戸) 及び畜産関係者に対し、発生事例の概要と豚舎消毒等の侵入防止対策の徹底について周知、指導するとともに、併せて、本病を疑う豚がいないことを確認中。

4 今後の対応

- (1) 県内養豚場における異状の有無を継続的に監視。
- (2) 中央家畜保健衛生所における確定診断 (免疫組織学的検査) は、4 月 17 日 (木) 12 時頃の見込み。

5 その他

- (1) 豚流行性下痢は、ウイルスにより主に下痢を起こす伝染病で、人には感染しない。
- (2) 平成 25 年 10 月以降、全国で継続発生中 (4 月 14 日現在、32 県で 313 件 (本県含む) の発生)。本県では、平成 8 年に 5 農場 14,641 頭で確認されて以来の発生。
- (3) 農場等での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあることから、決して行わないようお願いします。

担当 畜産課 振興・衛生担当
千葉、高橋、本波
内線 5722

書一 号 外
平成26年 4月15日

全国農業協同組合連合会岩手県本部県本部長
岩手県養豚振興会長
岩手県農業共済組合連合会会長理事
岩手県家畜商業協同組合理事長
一般社団法人岩手県獣医師会長

} 様

岩手県農林水産部長畜産課総括課長

県内における豚流行性下痢の疑い事例（2例目）の発生について

このことについて、県内の養豚場において豚流行性下痢（PED）疑い事例が発生し、別添のとおりプレスリリースしましたので、お知らせします。

つきましては、貴会員に対し、引き続き侵入防止対策の徹底について、注意喚起をお願いいたします。



【振興・衛生担当（本波 美香）TEL019-629-5722】

豚流行性下痢（PED）を疑う事例（2例目）の発生について

4月14日(月)、豚流行性下痢（PED）を疑う事例（2例目）が確認されたので、概要をお知らせします。

記

1 疑い事例の概要

- (1) 飼養農場：県南地域の養豚場1戸（4,452頭飼養）
- (2) 症状：哺乳子豚598頭（下痢、嘔吐、うち死亡170頭）

2 経緯

- (1) 平成26年4月14日(月)10時、県南家畜保健衛生所に、哺乳豚の下痢、死亡等がある旨報告があった。
- (2) 直ちに、同所が病性鑑定材料を採取し、中央家畜保健衛生所に搬入。
- (3) 簡易検査（遺伝子検査）を実施し、14日(月)夜、6頭中6頭でPEDウイルス遺伝子を確認。

3 これまでに行った措置等

- (1) 当該農場に対し、豚舎消毒など、まん延防止措置の徹底、豚の移動自粛を要請済み。
- (2) 肥育豚の出荷先であると畜場に、当該農場から、当面、出荷を自粛する旨連絡済み。
- (3) 1例目及び当該農場を除く養豚場（152戸）については、本病を疑う豚はいないことを確認済み。

4 今後の対応

- (1) 県内養豚場における異状の有無を継続的に監視。
- (2) 中央家畜保健衛生所における確定診断（免疫組織学的検査）は、4月18日(金)12時頃の見込み。

5 その他

- (1) 豚流行性下痢は、ウイルスにより主に下痢を起こす伝染病で、人には感染しない。
- (2) 平成25年10月以降、全国で継続発生中（4月14日現在、32県で314件（本県2例含む）の発生）。本県では、平成8年に5農場14,641頭で確認されて以来の発生。
- (3) 農場等での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあることから、決して行わないようお願いします。

担当 畜産課 振興・衛生担当
千葉、高橋、本波
内線 5722

畜 号 外
平成26年 4月16日

全国農業協同組合連合会岩手県本部県本部長
岩手県養豚振興会長
岩手県農業共済組合連合会会長理事
岩手県家畜商業協同組合理事長
一般社団法人岩手県獣医師会長

} 様

岩手県農林水産部長畜産課総括課長

本県における豚流行性下痢の発生について

県内で発生した豚流行性下痢（PED）を疑う事例（1例目）が真症と確定され、別添のとおりプレスリリースしましたので、お知らせします。



【振興・衛生担当（本波・高橋）TEL019-629-5726】

平成 26 年 4 月 16 日 (水)

県政記者クラブ各位

農林水産部畜産課

本県における豚流行性下痢 (PED) の発生について

4 月 14 日(月)にお知らせした豚流行性下痢 (PED) を疑う事例 (1 例目) は、精密検査 (免疫組織学的検査) の結果、真症と確定されたので、お知らせします。

記

1 発生事例 (1 例目)

(1) 県南地域の養豚場 1 戸 (17,110 頭飼養)

2 これまでに行った措置等

- (1) 当該農場では、豚舎消毒など、まん延防止措置を講じていること。
- (2) 当該農場では、豚の移動・出荷を自粛していること。
- (3) 全養豚場 (154 戸) 及び畜産関係者に対し、消毒等の侵入防止対策の徹底を要請していること。

3 その他

- (1) 豚流行性下痢は、豚の伝染病で、人には感染しません。
- (2) 農場等での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあることから、決して行わないようお願いします。

担当：振興・衛生担当 千葉
内線：5722

密 号 外
平成26年 4月17日

全国農業協同組合連合会岩手県本部県本部長
岩手県養豚振興会長
岩手県農業共済組合連合会会長理事
岩手県家畜商業協同組合理事長
一般社団法人岩手県獣医師会長

様

岩手県農林水産部長畜産課総括課長

本県における豚流行性下痢の発生について

県内で発生した豚流行性下痢（PED）を疑う事例（2例目、3例目）が真症と確定され、別添のとおりプレスリリースしましたので、お知らせします。



【振興・衛生担当（本波・高橋）TEL019-629-5726】

平成 26 年 4 月 17 日 (木)

県政記者クラブ各位

農林水産部畜産課

豚流行性下痢 (PED) の発生 (2例目、3例目) について

4月14日(月)にお知らせしたPEDを疑う事例(2例目)は、精密検査(免疫組織学的検査)の結果、真症と確定されたので、お知らせします。

また、昨日(16日)、沿岸地域の養豚場1戸で、PEDを疑う事例(3例目)の通報があり、県内での発生状況、臨床症状及び簡易検査(遺伝子検査)の結果から、本日(17日)、確定診断しました。

記

1 発生事例の概要

	2例目	3例目
確認月日	4月14日(月)	4月17日(木)
農場	県南地域の養豚場1戸(4,452頭飼養)	沿岸地域の養豚場1戸(1,426頭飼養)
発生概要	哺乳子豚598頭こ、下痢、嘔吐(うち死亡170頭)	育成豚30頭、肥育250頭こ下痢
遺伝子検査	6頭中6頭で陽性	15頭中15頭で陽性
免疫組織学的検査	6頭中6頭で陽性	

2 3例目(沿岸地域の1養豚場)の経緯

- (1) 平成26年4月16日(水)10時、中央家畜保健衛生所が、当該農場から通報を受理。
- (2) 同日20時、同所が病性鑑定材料を採取し、中央家畜保健衛生所に搬入。
- (3) 簡易検査(遺伝子検査)を実施し、17日(木)朝、15頭中15頭でPEDウイルス遺伝子を確認したことから、総合的に真症と診断。
- (4) 症状を示した肥育豚は1~12か月齢で、哺乳豚(生後3週まで)での症状は認められていない。

3 これまでに行った措置等

- (1) 当該農場では、豚舎消毒など、まん延防止措置を講じていること。
- (2) 当該農場では、豚の移動・出荷を自粛していること。

4 その他

- (1) 豚流行性下痢は、豚の伝染病で、人には感染しません。
- (2) 農場等での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあることから、決して行わないようお願いいたします。

担当：振興・衛生担当
千葉
内線：5722